

☾ 第17回マルチメディアデイジー図書講演会

# 小学校での デイジー教科書使用事例

---

奈良市立済美小学校ことばの教室

---

上野 貴代

# 目次

- 1 奈良市立済美小学校の紹介
- 2 本校での取組
- 3 実際の事例
- 4 使ってみて思ったこと

# 1 奈良市立済美小学校の紹介

- ・ 創立 1 5 1 年
- ・ 全校生徒約 5 0 0 名
- ※ 5 人に 1 人以上が何らかの支援を受けています  
(特別支援学級・通級・日本語指導等)



## 2 本校での取り組み

# デイジー教科書本格導入の理由

- ・ GIGAスクール構想で一人一台タブレットが奈良市でも配られた  
→ハードウェアを購入しなくても利用できる
- ・ タッチペンは初期費用がかかるため、保護者にすすめにくい  
→タッチペンでないとわかりにくい児童がいなかった
- ・ 何ができるかデイジー教科書を使ってみる時間的な余裕があった  
→いままでのやり方を変えていく必要性を感じた





# 学校で一括申請をする理由

- ・そもそもアプリを入れてもいいか、貸与されているタブレットのため迷う（**学校であれば入れやすい**）
- ・万が一、アプリを入れたせいでタブレットが壊れたり、動作が遅くなったときに**保護者や児童のせい**にしないため
- ・**個人的な理由で申請できない児童**が出ないように
- ・**授業中に**タブレットを出して**使うため**（通常学級での授業場面での利用はまだまだすすんでいませんが…）

### 3 実際の使用事例

- 1 本文を聞いて内容を理解する
- 2 本文と一緒に読む
- 3 本文を音声なしで読む

## 3－1 本文を聞いて内容を理解する

- ・初めて読むとき
- ・自分で読むと内容が理解しにくいとき
- ・内容を理解してほしいとき

☆わからないところは戻って確かめられる

## 3－2 本文と一緒に読む

- ・勝手読みがあるとき
  - ・だいぶ音読ができるようになってきて、  
読みたいけれど一人では不安なとき
- 拾い読みの児童でも一緒に読むと一定の速度で読めるようになってきます。

## 3－3 本文を音声無しで読む

- 漢字のルビがふってあるので、漢字の読みでつまづかない
- 読むところの色は変わるので、今読んでいるところがわかりやすい
- 字の大きさが変わるので、読みやすい大きさのフォントで読める

# 利用をすすめる児童

- 文字を拾い読みしている
- 漢字の読みが覚えにくい・思い出しにくい
- 飛ばし読み・勝手読みがある
- 白地の教科書が読みにくい
- 集中力が続かない
- 自分でスラスラ読めるけど、内容を理解できていない
- 将来的にノートテイクをパソコンですていく
- 外国にルーツがあり、読み書きが難しい





# 利用をすすめる教科

- 国語

新出漢字、読みかえの漢字が出てくる

→本文を負担なく読める

- 道徳

国語と違い、課題文を授業場面でも1・2回読むだけ

→デイジー教科書だと内容の把握がしやすい

- 英語

書いてある単語が読みにくい・読み方がわからない

→発音やイントネーションがわかる

# 4 使ってみて思ったこと いいことばかりなのですが…

利用の方法→もっといろんな使い方、効果的な使い方ができるのではないか

教室での利用の促進→他の音声読み上げも含めてどう使っていくか

